TA! (-)

帝旨を

奉體

張總理

酬

in

建國本義を

政府要人

聖意に副バ 慧 昌

刋 3 日六十月七 科廣定本金告價級 發行 印制景 刷報行 特書第一 所 人人人 別通稅錢 內被河 行月月

之荣 新聞社 阿四 五五 五 十十 貧裝 鏡門 介無忠

可の説明中、經濟的理由として暴げられた数字には 東京の場合で、今間題として表示の場合で、今間題として表示が、之は完全なる永久 建築の場合で、今問題としてある。とでは十六年の住宅は、 で一千戸に對し、一ヶ年五 では十六年の住宅は、 である。とでは十六年の住宅は、 である。とでは十六年の住宅は、 である。とでは十六年の住宅は、 である。とでは十六年の住宅は、 理樂出不

百戸建つといふ▼この百戸建つといふ▼この 戶分

屋内全部を緩めればならぬを算出したものと見られるを算出したものと見られるが實際に於て、ステーム又は温水優房ならば 差がない▼のみならず、ス さすれば 温水 優 房と殆ど さすれば 温水 優 房と殆ど とすれば 温水 優 房と殆ど

說明尚不足 重れて田村副總監へ

を足いならば ならばけ

特に瓦斯の節約を計算に加 不經濟なりとの數字的根據 は却つて反對の結果となる は却つて反對の結果となる

援房では之が出来ね▼即ち をの結果 瓦 斯 の消費量が では之が出来ね▼即ちる。ステームや温水

をともに陸軍大臣として所 信を事直に表明して首相の 七月

富州を爆撃 は長鵬富州に飛びた支陸軍航空部隊別

山田輔佐官

樂材各

陸物產直輸入商

は、全量務局から轉出の新輔任する 今夜着任

各內蛇竹食滿南台 屬外皮材品洲支特 玩事製竹雜特產產 具果品等貨

時間 学事事施設を猛爆、また後 ないて兵および軍需品を積 が対上空に達し同地のきかんに 大なの約十幡を爆砕し終々富 が大上せるを認め引獲きかん で炎上せるを認め引獲きかん で炎上せるを認め引獲きかん を関するを認め引援等を を検索を をした。 を関するを で、また後 で、またを でを で、またを で 、またを で 、 またを

本学本勘太郎氏(滿葉秘書 物重組と本語大郎氏(滿葉秘書

是組合審記長)同國都 以(旅順工大教

野氏(會社員)同棲 ・ 一部では、 「一部では、 「一部では、 「一部では、 「一部では、 「一個」を 「一部では、 「一個」を 「一個」を

西家建設の聖業の重賞を は、独務に選進すべき権 との要旨による別項の如き は、独務に講覧に各部大臣 と、全議省長及び次長、 を職員の決意を関民に强調 との要旨による別項の如き を選調し、ついで星野總務 を選まり今次副訪日に際し のに が表の決意を促して午前十一 との決意を促して午前十一 との決意をにして午前十一 との表記を記述すべき権 との要旨による別項の如き を選ばなり、 との決意を促して午前十一 との表記をによる別項の如き を表記を記述すべき権 との要旨による別項の如き を表記を記述すべき権 との要旨による別項の如き を表記を記述すべき権 との要旨による別項の如き を表記を記述すべき権 との要旨による別項の如き を表記を記述すべき権 との要目による別項の如き を表記を記述すべき権 との要目による別項の如き を表記を記述すべき権 との要目による別項の如き を表記を記述すべき権 との要の表記を記述すべき権 との要目による別項の如き を表記を記述すると、 を表記を記述すると、 との表記を記述すると、 とのまたを記述すると、 とのまたをといると、 とのまたをと、 とのまたをといると、 とのまたをといると、 とのまたをといると、 とのまたをと、 とのまたを との 建関神劇創趣に関し長くも 皇帝陛下には萬世不磨の大 記を渙發あらせられ、故に 政教の大本が確立するに至 つたので、補洲國政府では 有難き帝旨に副ひ奉り東亜 有難き帝旨に副ひ奉り東亜

ートを封鎖するやうなことになればそれは英支國交に 電大な影響を與へるであら う」と絶望のあまり英國に 版場的警告を發し大要左の 如く論じてゐる

排點るに間ルを 重友 I 通 こ 闘吾要好ト告

ことを希望するとを希望するとを希望する。ビルマーを対けの関係持續のうへかは英政府がこののであり、ビルマーを表現を表現を表現している。ビルマーを表現している。ビルマーを表現している。ビルマーを表現している。

賜餐の光祭

送禁絕

新市場開拓に

貿易業者動員

州出伸長策を立

案

請訓

型 カラ大戦の神響に依る浦 地よりこれが對策は刻下焦 月の急務となつてゐる

8

蔣

物

資

政府は國勢調査、國兵法の 施行準備或は國內勞工對策 資金計畫、生必配給優格統 制、交易場整備等重要諸問 制、交易場整備等重要諸問 制、交易場整備等重要諸問 制、交易場整備等重要諸問 地方との連繫を緊密にして の完遂を離集するため士七 十八日の兩日午前九時より 標準官邸に於て全輔十八省 然本兩大長、各部大長、司 松木兩大長、各部大長、司 松木兩大長、各部大長、司 松木兩大長、各部大長、司 松木兩大長、各部大長、司 松木兩大長、各部大長、司

教育問題その他

七、八兩日開催

特殊國體、特殊會社代表者 特殊國體、特殊會社代表者 特殊國體、特殊會社代表者 特殊國體、特殊會社代表者

多数を御召しになり賜髪あ らせられ有難き御言葉を賜 つた、賜餐の光榮に浴した 房蔵に感激し午後一時半帝 宮を退出した

東京澄國通) 接務物資輸 大使は十五日有田外相を おけい タ大使よりランダー 大使は十五日有田外相を おまび禁絶さるべき品 目の範疇に関する親目の點 につきわが方の意見を質した後、本件解決に関する正 た後、本件解決に関する正

杭 州灣作戰開 始

職を閉始せり ・ とのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これが、これのでは、これの 支那方面艦隊報道部發表

職の必要上二、三日延期され ・ 数をみるに至り、外務省で ・ 数をみるに至り、外務省で ・ は右に関し同日午後次の情 ・ は右に関し同日午後次の情 ・ 大使が本國政府へ報告請 ・ 別の必要上二、三日延期さ ・ 1 相の必要上二、三日延期さ ルート完全遮断についで 十二日會談の結果港歩を副十一時有田外務大臣を副十一時有田外務大臣を副十一時有田外務大臣を報部長談・レーギー英報部長談・シレーギー英報部長談・シレーギー英報部長談・シレーギー英報部長談・シレーギー英報部長 みたビルマ提案物資の輸 送業絶實行方法に關じて 協議を遂げ同午後二時辭 は兩三日後となる見込み である

苦惱深刻

たもや残された西南唯一の 権血路たるビルマルートが 有田、クレーギー會談の進 おにより將に杜絶せんとし であるとの報は電慶政府に を反映して重慶政府機関紙 を反映して重慶政府機関紙 を反映して重慶政府機関紙 を放け、 であるがこれ

つた和平問題に開し重率 全會を契機に俄然擡頭-が岡共関係および一般民衆 和平運動日に擴大

てるる有標である 本路建設に借って生まり、 本の原住民族協会の十五キョの原住民族協会の をで行といい。不ると、一手町がとれて、さきの をでなり、大人に乗り出して来たといい。 をでなり、大人に乗り出して来たといい。 をでなり、大人に強力では、一手町歩の様に出来なる工事の をでなり、大人に強力でである工事の がとれるといい。 をでなり、大人に強力でである工事の がとれるといい。 でなり、大人に強力を をしい。 でなり、大人に強力を をしい。 でなり、大人に強力を をしい。 でなり、大人に強力を をしい。 のでなり、 でなり、 で 流れこみ今は 高々と第つ 満々と独 この種の仕事は中止されたものであつたのが克服されたものであつたのが克服されたと、 工事期間の増加、 完成期の短縮、多期勞働者の遊開徒食の打破と、 各方面に與へた影響の多い中にも、 將來開拓地では原則的に水田造成を耕作單位に加へてゐる臟係上開拓圏への でゐる臟係上開拓圏への 一枚覆ひ、その上をアン 一枚覆ひ、たけのことで したといふだけのことで したといふだけのことで っ 一月末に入れば殆ど でなれたが克服された

簡易工事成功

二、三寸の世

苗が青

工派に出來上り、2

本佐縣明しきつは海の佐郷県といったが 「一年の佐賀村の住民の 「中の佐賀村の住民の 「中の佐賀村の住民の 「中の佐賀村の住民の 「中の佐賀村の住民の 「中の佐賀村の住民の 「中の佐賀村の住民の 「中の佐賀村の住民の 「中の佐賀村の古地で 「中の佐賀村の古地で 「中の佐賀村の古地で 「中の佐賀村の古地で 「中の佐賀村の古い 「中の大田、 「中の大田 「中の大田

年でる副判とし且今屢れにの園十にの入

年で、大大造験を入植したものの、 本年現地到着とした時があった」の、 本年初がはは本田作の、 で実外の野道地であるため、 本年初がはは上り引かればなら山といるをでまるに是非とも第二級は太田作ることとなり資金三十四萬 田造成地から約十五キロ 田造成地から約十五キロ 田造成地から約十五キロ 田造成地から約十五キロ 田造成地から約十五キロ 田造成地がら水を

世界では、手し大規模な保温装置を行ないと思はれたが、是非とないと思はれたが、是非とといふ劇員の熟誠で簡易保温装置を研究しつと遠に零下十九度迄自由に工事を進めることに成功、本年春延を完成、引機いて蜿蜒十五を完成、引機いて蜿蜒十五を完成、引機いて蜿蜒十五を完成、引機いて蜿蜒十五を完成、引機いて蜿蜒十五を完成、引機いて蜿蜒十五を光があることに成功、本年春延

物資輸送を停止

取る者もあらう 取る者もあらう

那に熟意あり中西や かりとなる、御木は

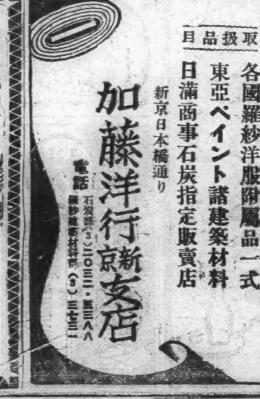
忙ファ

機ぶ納給路遮断に海軍新 機務補給路遮断に海軍新 新型各種取揃へ

で 大しつつあり 重慶内部の程 大しつつあり 重慶内部の程 よび實業家の全面的和平促 選運動など澎湃たる和平へ の動きはいまや電慶政権に の動きはいまや電優政権に

の日く

▲赤池鶴雄氏





新京電話(2)一九八八香 新京長春大衛四四號

本店

東亞物產洋

新京市內石炭運搬賃金 七日送附分より實施可 左 の通 壹施 致候に付此段謹 改正 告仕

二、六〇 11, 110 三、六〇 UL 00 0 11/110 11'00 一、八〇 、五〇 六〇 四分ノ一地 1,10 011.1 三〇 七〇 五〇

石炭値段は從來の通り 五、00 E, 00 に御座候 00

変た電氣自動車利用に乗氣 で鈴木院長も最近名古屋大 で鈴木院長も最近名古屋大

車製造業者から研究用と して約入する旨の申出が 同院本間氏はその事につい で も適するやうに研究政造 となつた で も適するやうに研究政造 は を置が多期の補洲國におい が を しても適するやうに研究政造 は を しても適するやうに研究政造

自動車」と銘打つて諸官隊 意氣込んで居りガソリン雑 を吹つとばしてスマートな を吹つとばしてスマートな を吹つとばしてスマートな だ々関都の大同大街を縦横

防衛陣を敷き空へ備へる防衛車を敷き空へ備へる防

入荷俟ら直ちに改造着手研究用車直ちに改造着手

洲でも實用化

電動的發展の一路を辿る満洲國各都市に

統制も何のその、國都の坦々たるアスフアルト大路を悠々疾騙するモダンな純國産の電氣タタシ。都市における足の惱みは態よ深刻化し、これに對處して國都では近く快車や箱馬車が營業化され

交通難國都

電氣自動車

『寒蓄電池完成で

世日 頃 學行 はる性き日に當り、畏き思なる性き日に當り、畏き思なる性き日に當り、畏き思



短籠なが

英靈偲ぶ軍國調

日本において電氣バスは古代のでは小型電氣自動車もはでは小型電氣自動車もはで電池をそのでまったではかが、それをそのでまったではかがでいると難断がありますのでは必要がありますがであると難断がありますがであると難断がありますがであると難断がありますがであるとを表があるとない。

ては銭均乗通めなくびひ

り奉夫配るてはとり ま太とものる甘さン せのい十はま年れ車

二萬圓

頭彩二〇、六〇三

片隅でボートをとめて株

^{専院の} 盂蘭盆法要終る

が都合により左の如く開催 権大會は來る廿日新京に於

京地區簡閲點呼始る

大いで陸力検査、教練、 別機さ廿一日迄第四區廿三 日から三十日まで第五區八 月一日から八日まで第五區八 で執行される

表る六月一日實施された米 食たる小麥粉は歳よ十六日 食たる小麥粉は歳よ十六日 けふ一齊實施

(東京) 尺八獨奏 「世界」

本西班牙經濟觀察團 午後 一時四十分率天へ 一時四十分率天へ 一時四十分率天へ 一時四十六名) 同 年後十時五分體們へ (四十六名) 一時間 時四十五分階層 (四十六名) 同 時四十五分階層 (四十六名) 同 時四十五分階層 (四十六名) 同 時四十五分階層 同 一時間祭團一行 同午後 一時間分階層 同 一時間分階層 同 一 賣場新設17日;(屋上)

※できた 橋本散

三人、大九三 二五、七

◆頭 彩 二〇、六〇三 ◆頭 彩 二〇、六〇三 ◆頭 彩 二〇、六〇三 ◆頭 彩 二〇、六〇三 中井 三六、九三七第京三 中井 三六、九三七第京三 中井 三六、九三七第京三 中井 三六、九三七安東 高野洋行 一三、九〇二 率天森洋行 一三、九〇二 率天森洋行 一三、九〇二 率天森洋行 一三、九〇二 本工牡丹江高岡號 四四、 八九一牡丹江高岡號 四四、 八九一吐丹江高岡號 四四、 八九一工、九〇二 本工七八一 二八、 四〇、二五、七八 二八、



高級シエパート犬・エヤーデル・コリー ワイヤ・日本テザヤ・スピッツ・純日本 犬等可愛い・牙犬多数御目見得皆様の御

日本獵犬界花形の直係兒近日多數輸入 交配の御希望に應じます尙後日の良き

屋上畜犬部

醫 院

大院の設備あり

緣 味覚に気からた

7 06 十五日より・十九ま同で八十銭均一 次週若樣評判記・野いばら

大村満鐵總裁
時三十分設列車で離京の強
時三十分設列車で離京の強

及川大長婦京 東京出張中であつた及川司 東京出張中であつた及川司

12.00 3-33

往來(十六日)

それの部署につかしめ午前 九時三十分管下全住民に演 習防衛命令を傳達、待機す 習防衛命令を傳達、待機す を担く腕を撫して待機した 人々は俄然色めきたち嵐の 前の靜けさを想はせて無氣 味な防衛作業が練けられて

息詰る數刻

防衛陣

吉林防衛地區訓練第二

H

資料品店にあり 手軽な完全食料品 で携帯品

石川木 新京市日の出町二丁目 電③二四

談に移り午後五時終了した

演習中の小火

十六日午前十一時吉林胡同電々社員奥原正夫氏方裏手に鉋屑が積み重ねてあつた。 ものから發火折柄防空演習らが騙けつけて消火に努めた結果、鉋屑一山を鏡いたのみで大事に至らず鎖火した、原因は子供の弄火から

と見られてゐる

本部長より詔書の意

建國神廟御創

もに

題を全市民

日本肇國の本義を 韶書の意義訓

の盛儀を永遠に銘記して帝 したが、國都ではこの廬古 したが、國都ではこの廬古 したが、國都ではこの廬古 したが、國都ではこの廬古

勤奉獸醫班

國務院訪

族揚揚は

方面を懸訪、関都市内見方面を懸訪、関都市内見をですませて哈爾濱に向なった、「寫真は國務院訪なった、「寫真は國務院訪なった、「寫真は國務院訪なった、「寫真は國務院訪なった。「寫真は國務院訪

満洲國建設勤勢率仕除の戦 管輝く制服委も颯爽と來京 十六日午前十時國族團族を 薬夏の風に飜して國務院を 動間、同表玄陽前廣場で想 務長官代理前野人事處長の 務長官代理前野人事處長の と 大勝節に引撃され蓝色の院 を 変更の風に飜して國務院を を 変更の風に飜して國務院を と で想

の遊軍で同日は關係各一組織された若人聖敏部等農林の獸醫科生を以際班一行は各帝大及び

平島 理事古林へ事)は吉林地區防空演習統 事)は吉林地區防空演習統 を監のため十六日午後三時二 十分製列車で吉林へ向つた

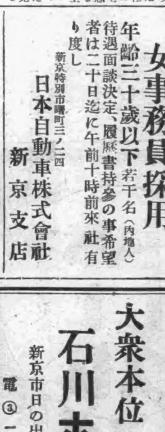
よ地が、優月であるためは は各国の通過を は各国の通過を は各国の通過を が優月であるためは に配出を にのいる。 に配出を にのいる。 に配出を にのいる。 には、そののいる。 にのいる。 には、そのである。 には、までいる。 には、までい。 には、までいる。 には、までい

三宅島漸く平穏

空腹ーが

AD 量大 配會或株果要央中 東東

振興洋行証券部新京安店 投資の栞神中越次弟進宝株式年鑑



六二

メガネの御相談は何でも 専門醫の處方を御持ち下されば如何 なる眼鏡でも調製します度の調製像 なる眼鏡でも調製します度の調製像 中羽知市滿新

京陸 病病軍 病院

眼眼眼眼眼 定指御

(三)



V目 曜 水

| 一教育上の見地から見童に悪 文部省では映畫法實施以來 文部省では映畫法實施以來 進んで選定

民刑一

一般法律事務 小

第 ③ 六四六五

(東一條通大和通交叉動画人) (東一條通大和通交叉動画人) (東一條通大和通文叉動画人) (東一條通大和通 六八香地

面林粉の六

石

は大正六年から 大正六年から 大正六年から 本で、観音劇場は 本で、観音劇場は 本で、観音劇場は

大阪の一端披に三年間線香 をつけ放しにしたり、雲布 衛門の眞似を二、三分やら 世て三百圓い祝儀を出した り、障子に全部穴をあけて わたれたワケだ に令とともに一 にった極めた丈に

るたの 二分に節 港の水上 三百

に三年間の に二年間の線香 無類、せりふと仕科の黒 疾を毎日二人づよつけた、仕科の保りが「莨盆 た、仕科の係りが「莨盆 を持つて二三歩行く」と を持つて一三歩行く」と

特博であったからである。 はそれ程よくしゃべり、又 はそれ程よくしゃべり、又

その彼が今度は北浦の或 る事業家として現れたのに は一驚した。 「新京でも家を買ふことに

演

娱夕

_

>

ŀ

百舌鳥

滿連 躍 員御禮 新 日 進 目 連夜 装 新 成 新 京 3 + 木 澤尾水月片阪村上村形山東 國 新開龍明 妻太太太郎郎郎介彦郎 両甲③五六○五 店 組 合 祖 飲 食

元祿だんだら染 U 12 00 2 59 5.58 10.10 十二日より十六日迄 料金一圓均一

7.00 7.34 8.45 10,60 **芸楽**劇場 1.40 4.35 秀子の應援圏長 12.00 2.55 5.50 十二日より・十六日迄・料金六十銭

1.20 4 20 2.27 5.27 90 0 氣 膜 鏡 13.0) 3.00 6.00

11.33 3.05 6 40 12.05 3.43 7.15 # y 1.20 4.55 8.10 ワンワン大特 2・10 5・45 9 00 10・17

女性の覺悟純情の花1-20 4-05 6-50 9 35 10-35 十二日より十八日迄 料金一圓 十九日より 女性の覺悟第二部

生

自

望

厚生會 籠 ノケン對金語樓大相撲 大辻司郎 座 十八番劇 出



續引!でま日八十は部-ピー 第 は 同六時迄純喫茶サロン(東一條通銀座新道入口) ニュウシンギョウ 九 H **對** 耐小川吉三田汀齋三桑 村櫻崎川原中 藤浦野 文昌弘滿 絹陽邊光通 子子子千純代子雄子子 字 植木飯坪河藤奈高佐 暮田內村野良倉分 治 美實 佐千蝶美黎秀眞 子代子子吉夫養彰信 茶 圓 均兄元 画河 多人

それでも、乞食は立つて

後、竹の暮の

の方ち、四日目の の何處に潜んで、 であるの。 であるの。

をして、大江戸の繁華の も、後の委は、何處にも も、彼の委は、何處にも

志 畫助

商况 前傷

こかほど前へ進んで、 こかほど前へ進んで、 いつた。 『キイ、手前、つんぼか』 野呂勝は怒つて手種の水 でも、ぶつかけさらな権悪

悪すんり な、身動きも出す を関で、室の中は薄暗い と貼けろ」 ま、身動きも出來ぬほど弱然が心臓がない。

日活京都總動員!

各地 年 品市 为 七月服 记为 三级 七月服 记录 第60 七月服 记录 第60

場の窓がら、外を覗いて呶 と、竹格子の這入つた流し と、竹格子の這入つた流し

が、叱られても、乞食は動かうとしなかつた。 それだけで、中次は、 施か一ばになつた。 さうして、奥へやつて來 さうして、奥へやつて來

敬慕の面影まざ

ミ悲壯!楠公一

族殉忠史

) 患

0

御用

は

電話(3)三三〇〇番へ

大會千代子

五三一三十七鬼 月月月月月月 限限 图 限限 限 限 物

会、竹の塚の家では、野 ある。 ピヤイノ、今時分、何だ は人氣も火の氣も無く、小でヤイノ、今時分、何だ は人氣も火の氣も無く、小でてそんな魔を彷徨いてゐ かにも凋落の空氣の漂つて かにも凋落の空氣の漂つて ルビ與大 街大局大京新 たのた六 ハハーニ(2)話 電

東の官様は自から授かる 東京・木郷・神滅館 中三 東京・木郷・神滅館 中三 ・本郷・神滅館

现立二十九八七十九八月月月月月月月月月月月月月日日 被限限限限限限限限 **第三三三三三生**

ē

御配物は

17日

18日

19日

五

朝

新京唯一の専門店へ普色の良き琴三昧線

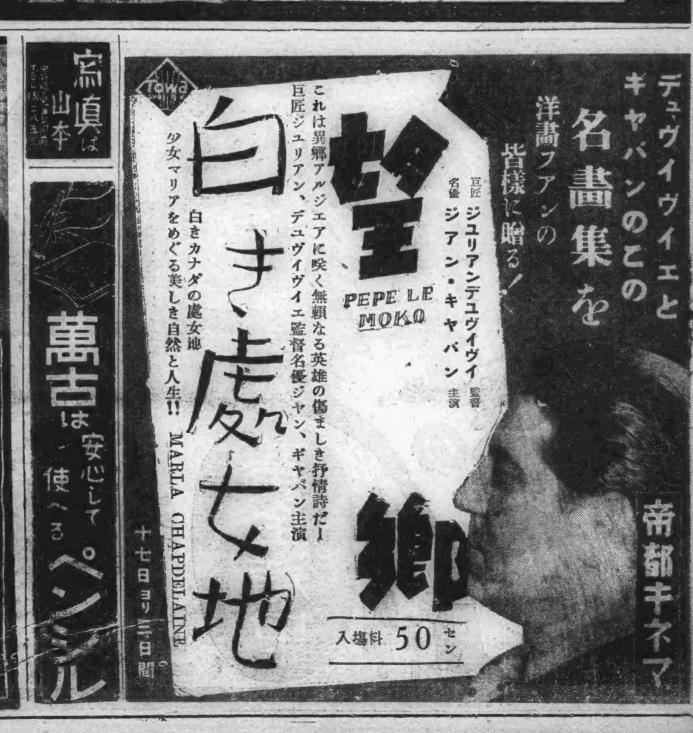
去るは 浪漫の 0 ・ゲルハルト・ラムブレヒ点 名畵!! ~~! 騎士 上れ 人白を馬 0 馬 p:

フア空前の超特作

一たし示暗を來未が逸獨國の學科カグ

堂コスモ、ポ 0 七百五 き込 かり金海底

監トスルオフ・リイウ星彗の畵映洲歐 峰高最の畵映樂音トルベーユシ エガルト 主流 コウリンラッドイン エリツク エリピツヒ このを聞も亦終らざる わが懸の終らざる



阜后兩陛下

政局安定に多大の關心

たが御都合により御取止のあらせ時四十五分宮内省から褒表された時退于驛御發車午後五時東京驛御遼東午後五時東京驛御遼園道】 天皇 皇后晦陛下には

時間十五分素の一時間十五分素の

常時局に對處して奔命の数場した米内内閣の後を受けて登場した米内内閣は事變處理場に外外非の完遂を中心目標に外外非の完遂を中心目標に外外非

を要望する ででは、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

ににのとたか酸性の 主観話しか酸性公内 ででである。 でである。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい

湖西 國交調整 福山田 政府はスペイン経済 (本語) の東京を機に兩國 を での調整並びに通商関係の 変の調整並びに通商関係の 変の調整並びに通商関係の での調整並びに通商関係の での調整ができる意見

て登場では、 を受験によって を受験を を受ける をしては のである がある をしては のである をできる をできる をできる である である である である である ががれる はである ががまた。 のである ががまた。 のである ががまた。 のである ががまた。 のである ががまた。 のである ががまた。 のである。 のでのである。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。

▲野澤正雄氏: 補洲國官吏 ★大沼幹三郎氏(閉原副縣

松田徳雄著一的業地整總局

登法

聯合艦隊行幸御取止

還幸成

進する決意のもとに畑陸相 とて辭表を提出した、これ とて辭表を提出した、これ

【東京強國通】木戸内府は十七日午後一時各重臣と で変容申上げるものと見られ、同日夕刻大命降下を で変容申上げるものと見られ、同日夕刻大命降下を 見るものと思される

殿下をはじめ率り加陸相、 陰軍では同日午後一時半よ 陰軍では同日午後一時半よ 陸軍では同日午後一時半よ

ことに決したので首相は**遂** 會議の結果これを拒否する

東京設図通コナ六日の米

引続き陸相官邸に軍事多議 官會議を謂き杉山、寺内、 間村各軍事金議官並に畑陸相より首相との會見顯末 ならびに三長官會議の結果 ならがに三長官會議の結果

行するに至つたものである

山田教育總監出席、特に澤田豪謀次長、阿南陸軍次官武藤軍務、野田人事兩局長でも出席して陸相より首相との會見顛末を報告し陸軍として今後とるべき措置につき重要協議を逃げ一時四十五分散會

組閣

大命

近衛公に

地政支局新設

金に降下するものと信ぜられる のは諸般の情勢よりして近衛文麿 のは諸般の情勢よりして近衛文麿

日午後二時三長官會議に東京發闢迦」陸軍では十

伴ふ政局の重大性に鑑み重位の一人としての責任上自職を決行するに至つたので、同日午後八時半急遽輕非

の責任上自競的に出でたもので木戸内府よりの要請によるも

澤を出發、自動車で歸京し

地籍事務に 萬全、 その地籍 所定の手續を經て公布實施 、さきに され 書である、これによい。 で兩省に り省事務官を支局長とし省 では廣範 が又は省内市縣族の高等官を に萬全を 以て參事官となし構成され では版範 るが支局は熱河省赤峰、鳥 別に置かれる筈

▲長岡濱氏(大連長岡公司

解散の

▲高田隣氏(泰天住友會社

往來

參議官會議

と 使つべきである を 使つべきである と 使つべきである

發行所

越內之介 「新聞社

同一ク月十一 万月十一 五十銭

辭表を取纏め葉山御用邸に伺候、辭表を捧呈辭職决行に決し、米內首相は直ちに各閣僚の職時閣議で總

日午後の臨時閣議において 左の如く勅選を決定した 司 法 大臣 木村 尚達 元遞信大臣 田邊 治遠 金書院總裁 竹内 可吉 金書院總裁 竹内 可吉 金書院總裁 竹内 可吉

完全に封鎖

辭表を捧

汽調仰付られ總辭職に至つた事情を具さに奏上、全閣僚の辭裘を捧昼相は全閣員の辭裘を取歸め午後五時十七分首相官邸を出で自動事 【東京發國通】政府は十六日の臨時閣議で總辭職に決定、米內首

して胸下に骸骨を乞ひ率つた

決意表明

職表を取繼め本日期書記 (電 るにより米内總理大臣は辭 意を決し

總辭職決行の經緯 の進言に局面轉換

本 式をとるか個々に會見する 水 は 未定であるが、 参集を 水める範圍は大體近衛公、 著規禮大郎男、 平沼騏一郎 男、 湯淺倉平、 岡田啓介並 びに原福府議長の六氏の模

り對英攻撃の方策、歐洲の り對英攻撃の方策、歐洲の 製を練つてゐたがいよいよ 想を練つてゐたがいよいよ 想と練つてるたがいよいよ り計奏攻撃の方策、歐洲のリー自談後引続きベルヒテリー自談後引続きベルヒテ

と確認する

大田兵式を行ふことに決

大田兵式を行ふことに決

大田兵式を行ふことに決

で重要な意志表示を行ふ

大田兵式を行ふことに決

で重要な意志表示を行ふ

なっれム版場をはじめ市内

が設備されてゐるのでヒ

本格化することとならう

本格化することとならう

トラー總統がこれ等野選 で重要な意志表示を行ふ のではないかとの説もあ

人大攻撃迫る 總統來週中に重大宣言か

は事ら今後における新政 制の强化については各方考へられない財界として 寄せてゐるが戰時經濟體 財經政策について關心を おれ米內內閣の總辭機に 治體制の進展後繼內閣の

意見徴す

問奉答前 精アヴェマリア號および瑞通は3こに完全に遮断されたの結果同夜寧波向け上 江定常徳の各船もすべて課別は判別をの結果同夜寧波向け上 江定常徳の各船もすべて課際は十五日午後江海陽よ ※號はいづれも出港を中止

沿岸封鎖張化に關するわが

敵自七十六師新師長邱清一、海軍航空部隊は十四日一、海軍航空部隊は十四日一、海軍航空部隊は十四日 海鷺潜山を爆碎 狽

活躍せる海上海軍部院は領海附近の砲墨より猛射する 敵の砲撃を置しつ、果政な 強在せる島嶼に鉾を揃へて 肉薄しつ、あり、鎖海より 変波に通ずる河川はその入 工に敵は沈船による閉鎖線 るが撃波、鎮海間には河川 るが撃波、鎮海間には河川 を築きわが進攻に怯えてゐ

滇緬公路封鎖 重慶側狼

猛進

なし君山北西廿四キロ談 方地區に對し偵察攻撃を 方地區に對し偵察攻撃を

損害を 與聯

新京市內石炭運搬賃金

七日送附分より實施可致

に付此

段謹告仕候

三、六〇

1、★0

1,10

四分ノ一苑

左記の通り

杭州灣砲臺を撃碎

重慶空爆第二十

方面に飛翔艦艇および陸飛河する十数個の砲艦を掲げたホ久線海を中心に南北南側の丘壁を利して構築された永久線海が大力で大力を設定して横へでは、大力を開発して横へが大力を表して、大力を表しまりのを表して、大力を表して、大力を表して、大力を表しままりになる。

七月十

をする大編隊が重慶新市とする大編隊が重慶新市とする大編隊が重慶新市とする大編隊が重慶新市とする大編隊が重慶新市とする大編隊が重慶新市とする大編隊が重慶新市とする大編隊が重慶新市とする大編隊が重慶新市とする大編隊が重慶新市とする大編隊が重慶新市とする大編隊が重要を指揮官

六五四三二

11,110

一、八〇 11,00

1,110

石炭値段は從來の通りに御座候

五、00 三.00

11,00

二、五〇 11, 110

一、七〇

一、五〇

1, IIIO

本で、各庭園に異常な衝動を奥へ ミュニケを發表し交渉は とて、各の後陽順距續出の傾向を 上本軌道に乗るに至つたが をの後陽順距續出の傾向を 上本軌道に乗るに至つたが となるが、まづ大同、 スペイン側では本問題につ を も最近部下の背反離散に遺 天に向ふを機に車中會談を が傷中を去る十四日京包線 務官、經濟部石渡為替科長 で か増身乞食同然長れな姿で 行ふことょし外務局松業事 で か着安は割期的明朝化をみ を同便節圏と同行せしめた で れるに至り、こゝに同方面 立 れるに至り、こゝに同方面 立 れるに至り、こゝに同方面 か の治安は割期的明朝化をみ と を同便節圏と同行せしめた

新 H

着任豫定變更

部新

支术 店店

引越荷物荷造

昌圖

公司支店

運送こ荷造

u)

0

店

るに至った

以下各顧問、各總務、所屬以下各顧問、各總務、所屬以官人原總裁、岡田幹事長、一時より芝三線亭に於て、一般展的解菓大會は十六日午後二時より芝三線亭に於て、一般展的解菓大會は十六日午 駐満海軍武官輔佐官山田武 大中佐は十七日午後十時五 十分の列車で着任すること に豫定を變更した旨武官府 に入電あつた

解黨決定

【東京發園通】新政治體制

日左の如く決定 高工書記官兼臨時 高工書記官兼臨時

精選 士 黑田實法律滿洲國特許商標登錄 諸書類公成民刑事訴訟顧問及鑑定貨家貨地管理

黑田實法律事務所

新京朝日通三十三番地

爺臨時物資

任總務應琴事官敘簡任二等 最高法院審判官 萬歲規矩機 萬歲規矩機

最

满 刊

日藏 文文版 一圓五十錢 各三十二十

國

重要國策聲明 洲 法令解說

良き参考書である一人一册必識すべき書意、逐條――解説等を分類編纂せるものにて満洲帝國の強展動向を知るに最も意、逐條――解説等を分類編纂せるものにて満洲帝國の強展動向を知るに最も

満洲現行法令類篆

第七版在庫僅少落日文六號組內容豐富索引付法別整然

松田德雄著一不動產系統登録手續。

記人 申請書例

日 劃

新京

發行元

各地

書

店取次販賣

大の目的としては資材、場場には、 力、動力及燃料の節約により、動力及燃料の節約による低物値政策の を顧ると共に、公定價格 を顧ると共に、公定價格 で併せてゼイ準品等に向け で併せてゼイ準品等に向け で併せてゼイ準品等に向け で併せてゼイ準品等に向け で併せてガイ準品等に向け で併せてガイ準品等に向け で併せる事にある、又

び現格外品についての措置 たまその際工器美術品の取るが現格外品についての措置 たまその際工器美術品の取るが現代であるが、いづれる定債格制度の構成が高次 にしてもこの非常時下にあるが、その及ぶ範囲は養好とは、一部の需要がこれに設到し かぶ間題であるが、いづれる定題を指揮であらら目 なほこれに協力を惜しんでは、一部の需要は大きをつてしては政府 はこれに協力を惜しんでは、一定の決断が選ぎに失するとは、一方の関系をもつてしては政府 はこれに協力を惜しんでは、一方の関系を表示してあるので、関係の高級品を始め一段品 は極力輸出されることとなるが、その及ぶ範囲は養石 度の流入が業想され、この表面にもとより金属製品 ため現在の價格が低下するを見ない満別國へは衰る程度の流入が業想され、こので、同句の設動を動したの人が、その及ぶ範囲は表示を表示してあるので、同句の設動を展示を表示してあるので、同句の設動を表示した。

(=)

六省で

個本向け石品 上げ協議

り、日本石炭會社に對する 補償等の方法により近く合 られてゐる

(1) 炭ッ等集 (2) 炭ッ等働者要量数 (2) 炭ッ等量差 (3) 大き (4) 大き (4) 大き (4) 大き (5) 大き (4) 大き (5) 大き (5) 大き (6) 大

理研究等において四、五年 ・ 工業化を顧みられなかつた ・ 工業化を顧みられなかつた ・ ことゝなりこれが企業方法 ・ につき研究を進めてゐるが ・ にっき研究を進めてゐるが ・ にっき研究を述る。

の増勢

確保、講洲蘆栗五ヶ年計畫 作付面積において は要復 四年度作付面積の約十倍を

古麻袋の回收

ではない。 たえず質問が聞く、どう おい物、辛い物が好きで たえず質問が聞く、どう

しても良くならない人。

東京市日本領国本町三ノー東京市日本領国本町三ノー
東京市日本領国本町三ノー
東京市日本領国本町三ノー
東京市日本領国本町三ノー
東京市日本領国本町三ノー

トモサンが最近各方面でさかんに愛用されて居 能識を高めたからです。

院に胃が痛む、胃が重く 込みあげる、食後か会腹が をしません。 する、腹が張る、食慾が こんな症状に 特に好適です 胃がデヤブノ の新最

● 専門店

八五番

運動臭な服装の店

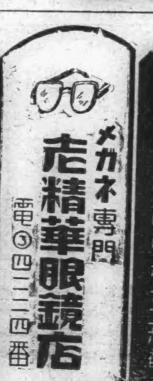
與安大路 與安止ル

腸が活潑に働



胃腸の悪い方がトモサンを服用すると、たとへ永年の慢性胃腸剤でも、胃腸の自活力が活液の働きによつて三度の食物を消化し、その栄養の働きによつて三度の食物を消化し、その栄養の働きによって三度の食物を消化し、その栄養の働きによって三度の食物を消化し、その栄養の働きによって三度の食物を消化し、その栄養の働きによって三度の食物を消化されるからです









村 毛布工業、神戸生糸檢査所料 毛布工業、神戸生糸檢査所と等日本各地五十ケ所に於て、等日本各地五十ケ所に於て 潛松織物試驗場

は ること」なった。しかし製 石鹸、味の薬、傍油、飼料 配料の各工場をも設置せし

遠州製織、日本形築、

分の胃腸は一生不治で 良くならず、もはや自 ら養生をしても一向に

に国り観察する筈である 其他日本網菜各部門を細部 近海不足船舶

金融機關に

會社を新設

腸 乳の新胃腸薬トモサン が最も好適です。 す。こうした方には評 はあるまいかと悩んで のる人が多数にありま

第一に、胃とか臓に生じて などとは全然作用がちがひー トモザンは今までの消化剤

これを健康程度に取復させ、

新二に、胃腸内に致性してる を殺職して大便中に操動し、さ を殺職して大便中に操動し、さ を殺職して大便中に操動し、さ のが新しい特別でする がある何害調査 を認識する何害調査 を決して大便中に操動し、さ

商况

後去場日

各地株式市况

カバン専門店 きぬき屋 日の10倍車は20mmの100元で、本田であり、五〇九六本田 じんのな 電③だがが新



加藤陷器店 世帯道具の店 電田四八三八十六五八三番

源物 ChiboLings 電③三二〇九番



店名譜

が悪く、種々の手當やたえず慢性的に胃腸

批

通

蹄着し が北年間機道にとどまり、その後數雲渦卷ぐイタ 為海軍の被闡侵入直後任地ワルソーを脱出して への後数雲渦卷ぐイタ も科學智

總領事朴錫胤氏にお 經由新京に

藤製品は

日陰

シきしむやうでしたら乾燥しす ルームなどに置くのはいけませ たとは差支ありませんが、日中 にとは差支ありませんが、日中

方ペラン

吸收させます

民性の最もすぐれたところで、生活必需品の統制 など廣範関に亘つて設定 に實施されてあて一般家 に實施されてるで一般家 に實施されても皆不 でうですがそれでも皆不 でも皆不 でも皆不 である線です。

滿 洲 軍 用

犬界の展望

滿洲軍用犬協會

試驗

勉强

重税を課すべきか、重税

るのでありますが、この事 て此れが宣傳に努力してあ て此れが宣傳に努力してあ

成し逃げられるものではたるや到底協會ばかりで

今日ほど必要性を痛感す

しすぎた證據ですから二三日夜露にさらして濕氣日中は外に持出さぬこと使つてゐるうちにギシギ ぬこと使つてゐるうちにギシギンダや庭に持出して夜露に曝すすと直ぐ古くなりますからサン 藤家具

記憶力衰へて

京大同公園で開催された 京大同公園で開催された 京大同公園で開催された 京大同公園で開催された 京大同公園で開催された 京大同公園で開催されましても 大人は向た人もその審査を でありませら、審査のの一端を でありませら、本名の でありませら、本名の でありませら、本名の でありませら、本名の でありませら、本名の をでありませら、本名の でありませら、本名の をでありませら、本名の でありませら、本名の を選挙をと公開されました。 をでありませら、本名の でありませら、本名の を選挙を を表表のでありました。 を選挙を を表表のでありませら、 を選挙を を表表のでありまれた。 を表表のでありませら、 を表表のでありませら、 を表表のでありませら、 を表表のでありませら、 を表示でありませら、 を表示でありませら、 を表示でありませら、 を表示でありませら、 を表示でありませら、 を表示でありませる。 を表示でありませら、 を表示でありませる。 を表示でありまた。 を表示である。 を表示でありまた。 を表示でありまた。 を表示である。 を表示でありまた。 を表示である。 を表示でありまた。 を表示である。 を表示である。 を表示でありまた。 を表示である。 を表示でなる。 を表示でなる。 を表示でなる。 を表示でな。 をまたる。 をまたる。 をまたる。 をまたる。 をまたる。 をまたる。 をまたる。 をまた

初中老期になつて

動悸息切れ五

血壓も高まり

體弱りに悩む

数ある

つけ犬をよく見せると

は必要であります、か愛犬と朝夕一時間位の 権権と體章に効果勝れたる

長壽を望まれるなら、即頃何一つそれをなり、監修書では一生とう生命を棒により、監修書では一生と

(京染品) 電腦3 内面五六





ミシン商會 部分品一 進星致しま 御申込次第型 學智別同一〇一 中編美通5 す

新京梅在枝町(京三系通) 、
植旗
染部 電話③三〇四一番

-

旗幕機 腕章

惡醉

物染入和

日醉

內貸小諮 積資本 外付口預 立本店 寫割金金 機 商信 送 **營億邊千七百拾五萬圖** 濱正

D-3-69

斯 車 層

業

目

業

の御収大き、内地への組替へも迅速に掲取接致します小口団金+間とり、定期賃金百職とり、其地内地類金 世界各地向途金を御便利に御取扱致します。西地向諸州各地向も有利品速に御取扱致します **新京日本福通三十四、電話代表** 金銀行 行表方

家庭的 含嗽 は大切

含嗽剤は次の

色ん

な方

法

あ

V)

やうにいろい

1100 一 五十倍重曹水、即ち日分位の蹇頼に温湯でい 五十倍砌酸水、

がい三 分の薬瓶にとかしたも **市倍の食鹽水** 0

广散解事時

これは匙で二杯位の砂剤を 即ち重炭酸曹謹一匙を二日でとかせば出來ます れは特に殺菌の作用 知つてゐて

= ×(學)=(醫)=(ト)=(ツ)=(ケ)=(ポ)× 本(学) - (国) - (E) - (E)

書を搭減し徹底無毒となることです。

金編に誇る

××× たどしさと ・ 要領の悪さ ・ を始一貫だらだら ・ 子供の時見た繪

は孫子の兵法(?)にもあると言ふ、これ暑さの逆療法の所以である、カツトはクララ・2、2、2のレヴューが氾濫し、さらさら新感覺派の支學等と言ふのもこの頃出現して一足、2、2のレヴューが氾濫し、さらさら新感覺派の支學等と言ふのもこの頃出現して一足、2、2のレヴューが氾濫し、さらさら新感覺派の支學等と言ふのもこの頃出現して一 ・ミュウジカル・プロダクションの願子ジーれ暑さの逆療法の所以である、カツトはタラ

書界

高では一千圓の増加
「レイ明曙光」は長春座
「レイ明曙光」は長春座
「老い仲間」など受けた
「若い仲間」など受けた
「若い仲間」など受けた
「おい仲間」などで共に三位

畫

東日文化部

港を護る人」と改題

***・・・跡を辿つて見る・ 前月との勢比、成績順、どんた映画が関都ファンには受けてあたか数字の…

四千圓の減少を示してゐる で入場者敷は前月と殆んど で入場者敷は前月と殆んど 入場者三萬八千名(前月四 萬二千名)揚げ高二萬七千 國(前月四萬二千圓)で入 場者に於て四千名、揚げ高 に於て大きく一萬五千圓の に於て大きく一萬五千圓の の惨敗が前月と大差を作つ してよいものがあらう この程「大同劇画教育委員會」に入會した、新興の電洋平氏は

は、の砂漠へ「マグルカ」(再 ・ 競前後篇、エノケン響の土 ・ の砂漠へ「マグルカ」(再 ・ 前月の「ヴァリチオ、忘却 大々」「格子なき電報に比して優 の超豪華番組に比して優 のとも劣らぬ成績を擧げ てるるのが注目される

レヴュ

一段構へ

船の大日本文化映畫製作

異色キャトで完成

大船ロケ着手

起ち上る村

「方面船」と改題した

・レジュー・漫才・浪花節・講談などの娛樂をも検閱陣の一翼に含め、こ躁所屬の映畫檢閱をも新たに加へた上、更に從來地方廳の手に委せてきた閱課―假稱―とし、新聞・雜誌・出版・レコードの四部門の檢閱庫に現在營時下、新しい國民文化の建設をめざし、內務省警保局では現在の圖畫課を

書課機充案は現在の高等 こにあらゆる文化統個の指導目標を確立、檢閱陣の大强化に乗り出すことと

人の専門権威

★年から實施する
★年から實施する

、更に富士フキルムでも 日 水カメラマン協會は本年 ト

天(博) | 再開 置 「西住 長(博) | 再開 置 「西住 最本長傳」は吉村公三郎監 最新領のため一時撮影を中 職するの己むなきに至つて あた、この程全快したので あた、この程全快したので あた、この程全快したので

(日 曜 水)

一名)揚げ高五萬五千圓)

長春 **春** 座

兵から北條高時の滅亡建武一のはい、力とも之は楠正成の夢いて

い長尺もの

統制張化するものである

一个秋記念事業 に各種 大郎 (同盟) 五氏の庭大な に名種 大郎 (同盟) 五氏の庭大な にて今天 海軍、内閣情報部等の後援 で韓國神社総内にこれ等諸

日本ニュー

日活の「歴史」 は異行的には をしくなかつ たが鸛能祭コ

改輯して發表

る事になつた

文部省では本年度第十一回 文部省では本年度第十一回 大日本文化映畫の智性」「漁の科 書「馬の智性」「漁の科 書「馬の智性」「漁の科 書「馬の智性」「漁の科 等」「琉球の民藝」各一 後、東簀映畫「體者のあ ない村」一卷、理研 ない村」一卷、理研 ない村」一卷、理研 ない村」一卷、理研 文部省では本年度第十二回文部省の推薦作

勝見庸太郎、菅井一郎等の下は豊田四郎監督、夏川郷市は豊田四郎監督、夏川郷 に入り修業の後五郎の許しの一奴が八月から五郎の門 我廻家五九郎の名跡は高弟 は は と ので、 日活本社へ盛んに寄せられるので、 日活本社へ盛んに寄せられるので、 日活でもこれを政 を ので、 日活でもこれを政 を ので、 日活でもこれを政 五九郎の名跡 「小島の春」完成 に呼びか

入場者二萬六千名(前月三 萬二千名)揚げ高二萬一千 圓(龍月二萬五千圓)で入 場者六千名揚げ高に於て四 場者六千名揚げ高に於て四

朝日新作

方面船《改題

記錄文化映畫「蹦印」を製體的解明を興へるため長篇

所国吉忠康監督の「起ち上所国古忠康監督の「起ち上

小風の浪曲、地中海、巨人小風の浪曲、地中海、巨人 大陸に於て六月の興行界 ことが判るが暑さが加は つてくるとこの数字が更 にど 変化するかみもの

八場者三萬七千名 (前月四 萬四千名) 揚げ高二萬七千 萬四千名)揚げ高二萬七千

受けたのが目立つ 受けたのが目立つ

すきやき店

ので息をつないだ 髑髏銭等再映も

正に銃後

サービス價

大、〇〇(新京)建國體操
大、三〇(東京)ニュース
大、三〇(東京)ニュース
大、三〇(東京)時報
大、五九(東京)時報
(新京)天氣豫報
、、五九(東京)時報
、、五九(東京)時報
、、一〇(東京)時報
、、一〇(東京)時報
、、一〇(東京)時報
、、一〇(東京)時報
、、一〇(東京)時報
、、一〇(東京)時報

章アレダロ、モーツアルト作曲(バストン)ペンシャミノコーン(チェロ)シャミノコーン(チェロ)カ、三〇(東京)緑濱市況へ、三〇(南京) 頻ッ通報 (中間) が、三〇(東京) 緑濱市況の(中間) がファアリビー)「ヨイコチャンカラ」 ヨイ子ノ會 (中間) 旅行者の3年(平) 家庭の時間 旅行者の3年(平) 家庭の時間 旅行者の3年(19年)

〇、〇一(李天)經濟市況
〇、〇五(李天)三曲合奏
「松風の曲」(事)名和幸
「松風の曲」(事)名和幸
「松風の曲」(事)名和幸
「大成千鶴子(三絃 久保田芳江 尺八)久保田球
堂、小林藝堂
〇、二二(大連)漫談 講談
「おつさんの森の石松」
高瀬 賞乗
「、五五(新京)經濟市況
一、五〇(東京)経濟市況
一、五〇(東京)経済市況

場面三三〇二

三題二二八化物

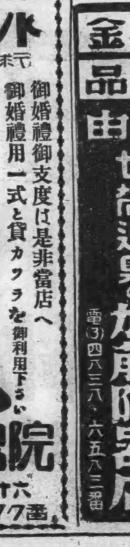
藤原義江の本年度上半期に 藤原義江の本年度上半期に 西で、内澤は福唱會八十 一回で、内澤は福唱會八十 三笠町三ノー 電③六三三八 は會宴御 (曙前) すまじ應に談相御に特

=カメラ技術發展目標==

生ビ 眼鏡上 眼鏡と双眼鏡は 中山眼科 醫院專屬御指定 中山眼科 醫院取及 田 で 事門 の 岡田 で は正しい眼鏡を御奬めいたします に正しい眼鏡を御奬めいたします。 時迄 純 奥茶 サ p V 電の四

間は大 ニュウシ **慢良品揃** キョウ





返 世帶道具s加藤陶器



三盆町三十 古色豊かな行家

ではとうに忘れてゐるのだ ではとうに忘れてゐるのだ を覺えに覺えた頃は、世間 が見えに覺えた頃は、世間

先づ古いところでは『ザ り」と云ふのがあつた。何 ら」と云ふのがあつた。何 っと云ふのがあつた。何 っと云ふのがあった。何 ら烈し ばはなく 呼べば」 と云ふ所があつた筈だ。

ち打になるだ をか云ふ中に「母の名でする。 で下つて「純情二重であるしい。 であるしい。 選

母 大に時局物になったは張かった。このがある。この 凍る酷寒の、 をあり得ない はあり得ない はあり得ない はあり得ない

かなりをかしい と過去形で訊ねてゐると、時間的にいてみると、時間的にい。「眠れた

呼ぶので あらう。 母の名を 中である名 だっての

話

清

昭

大には「愛島進軍職」で あるが、二節目だつたかに 「きのふ落したトーチカに 「きのふ落したトーチカに

よつと變で

人の話によれ. ・ 食祉の文 いかず、下手 わけが分ったや

さんだぞ」とでもすれば解 るんだぞ」とでもすれば解

た政ないではの句行も を もので、歌の内容が抽象 になつたら、なか・ 前後の脈絡の乏しな もので、歌の内容が抽象 になったら、なかく 優 になったら、なかく 優 學校の療欲や、近 歌などを、正しく

るた獲收大最の學醫紀世

疾淋

はむづい

にゐたとやら」

B

だと思つたすりくする質には、三節目以下くする質には、三節目以下のものなどは先づどうでもよいから一節目の殊に一行といから一節目の殊に一行とである。例の いわる わける 母で終る カサタナ、エ回の文句は別かる

ではじまつてゐる。ア列のエケセテネ等ではじまり、一節得 ではじまり、一節得 大は鐵道唱歌や数へ明



を中位の時間 ではしいものだから でほしいものだから

あつて

り强力

人いに活動して戴くこれに、大いに金を使つ

ま方

本に、より大膽に、より大膽に、より大膽に、より大膽に、より大膽に、なり大膽に、ない

とを制目して待望する次第であるが文化科としても期待されてゐるだけに、充分なる研究と各種の實情を調査し、その進退を慣重にやってほしいものである。.

新京の生活から

特来への理想のために勉強 せよと云ふことは確に無理 やうな都會の空氣の中で盛 り場が難沓することは決し て無理ではない。然し、私 にのやうな雰囲気の中で感

のかと云ふ疑いの中に

斷

(=)

つのであると言つてみ 成る人はこんな事は演響 であった、こんなものを 作るのか、その心底が判ら ないと言つてゐる人もある ると言つてゐたのを 物なり、その主旨を とのこの聯盟を結成

に對するハッキリとしたる 動向を指示しないのであつ てその上協會の持つイデオ ロギーがハッキリしないの が確急である。即ち頭腦的 な確固たる演劇指導の意見 やが欲せんとする、 の協會は創立以來未 は時々行。 は時々行。 あが、或

金制になる夕暮 話に依ると、

るがこの爲めには

もつと電気のには

一
の下に

我々は協會と握り合ふ手や

にしてるると、一 日数十回の喰ひ逃 店が大分缺損をす ると聞かされたの である。世の中の ゐる心易い料理人 川島清一郎 で喰ひ逃げとは、めらうと思はれるめらうと思はれる カナラリーマンで かまつた 譯ではないが、あそこに出いが、あそこに出いが、あそこに出いて かまつた 譯ではない

これな當然の話 でやる人間は、必ず他の生活行為の 上でも、破綻して あるに決つてゐる 社會生活の上に必 計會生活の上に必 で考済を施さずに は置かないだらう 鬼も角寒心に堪へ ない話であるが、 われわれはお互ひ に、日本人の大陸 生活と言ふものを

なくわれわれは話題の登れないのである。例はなくわれわれは話題のである。例は をもる、貧例感受が話困外

たのか、動の場所を變へたなった人が多つた。 木の人は僅か五十 おどろかした。 をもつ『つい最近この日あるがぼんやりした倫」

(日曜永)

との連緊成立は にしたことはチャ したことはチャ したことはチャ

よった空氣が生 続示すると云ふ

我々は満洲に生れつゝあ

の質及量、

一何時も双方で見計らつて 出たやらに同じ路で出送ふ ので、何時ともなく會郷を するやうになり此頃ではす

向の経路で行ふ機になつ 面の経路を行ふ機になつ 面の経路を行ふ機になつ で高峰群を行ふ機になつ た」と言ふ傳説がある、 面の経路を行い機になっ

へるのである。何の

惧れるので

刺嘛期會と跳鬼

佐

の青年層の無希望な灰色の青年層の無希望な灰色の

題は量的には豐富にあるが 政治の貧困がこの國にも浸 であるかと開き直られる とそれは困るが、私が云ひ とそれは困るが、私が云ひ とそれは困るが、私が云ひ たいことは現在のそのやう な政治の貧困ではなくてこ

つ野

へ浮ぶことが

この人の前後に從つて必

跛行の軍人と小な可笑しな顔を

本·大阪市

發賣元

亞

新

公社

院隨意

電話

3

五六

二六番

肛花内

٤ ③詩電



満

を見送りながら私の空想を見送りながら私の空想





高島易斷所

適確なる 運定は信用の の そ千金の價値川 高島の活斷こ

種

寢

台

各





曲浪藝文

る抗菌力を出現せしめ以て表面 り極めて早期に體内の血液、細 な療法の原理は単なる内服によ 確 効 刻。

力を發揮せしむるにあり に對しても完全に其の撲滅的偉性は勿論深層部に潜入せる林薗

適 △淋疾 (急性、慢性)及其合併症一般(淋毒症 其合併症一般(淋毒症 其他子宫附屬器炎、子 △淋毒性子宫頸管加答兒 △島桃腺炎、中耳炎
及丹毒、敗血症、
及丹毒、敗血症、

藥價低廉 返す 後四日間服用休止し(之を一ク 三錠宛一日三回、五日間建用の ール)更に必要に應じこれを繰 # 五十錠、百 (文献送呈)

病

室完備

新京グ

イヤ街

を
松町

南 1 馬

本店 新 京 大 同 支 大 生張三支 高所。 高所。 高 街

目種業營 并是资中产公普 出張所所在地 2 四

古本買入。 租元 洲獨特野外料理 成吉思 東一条通り 古さを買って 新智識をし 精 子舞 * 良 台式 **農松堂古典部** 全 5 電三二 本日京新川開 お茶

分工場

京

西

Ħ.

馬

路町四二四

話

二三三六七番

7.

茶道具

の店

茶園

満 則 京 1 電新新 京 和

报替口座

電 話 〇二三 悉

夕食時刻に

吉林省公署員訓

可なりと講評が下されたのためにおそくなつたもので最初の試みとしては概ね

語る。

教材を充實

拓並に國防の第一線

る。しかもこの佳き年に因み市民的行事として斯道スポーツの鼓吹を企闘することは體育運動の上る、しかもこの佳き年に因み市民的行事として斯道スポーツの鼓吹を企闘することは體育運動の上る、しかもこの佳き年に因み市民的行事として斯道スポーツの鼓吹を企闘することは體育運動の上級大會開催することになつた、足球競技は古來より支殊運動文化史の一頁を飾る民族 的 國 技であれ 元二千六百年を慶祝記念として本社では體聯新京事務局後援の下に左記要項により第一回市民足犯元二千六百年を慶祝記念として本社では體聯新京事務局後援の下に左記要項により第一回市民足

値上を申請

回市民足球士

墓標 情部隊長の手で慰靈祭 武勳薫る

今は忘れ去られてゐる曾つ めてゐたところ辛うじて〇 に、 での古職場に詣でる人もな 〇聯歐といふ名がわかりこ での古職場に詣でる人もな 〇聯歐といふ名がわかりこ の慰靈祭を執行、七年問埋 健園の鬼となつたものであ がつた皇軍勇士の選標が奇 れによつて同英豊は満洲事 間るみに出された、減ソ國 ので關係方面に照常すると 接の護りに當つてゐる〇〇 然たる皇軍勇士の選神を設 の心臓のであずなる三月赴任直 をもに皇軍勇士の強神を設 人情部隊長によつて樂たる 見以來多忙な軍務の餘暇を 類なるよところ辛うじて〇 で をもに上の日の新盆を選び の で

改善刷新

去る七日大連港に於て負性 コレラ患者級生以來關東海 ちの入港船に對し全神經を 集中、萬全の防疫網を張り めぐらしてゐるが、檢便實 撤以來十四日までの八日間 地域與確行人員は約三千名に 達し天津方面のコレラ患者 被世施行人員は約三千名に 達し天津方面のコレラ患者 被出に拘らず完整の防疫網 を張和員中にコレラ製似 京乘組員中にコレラ製似 京本が、同菌は直接何等人體 たが、同菌は直接何等人體 たが、同路は直接何等人體 たが、同路は直接何等人體 であり、同保園者織出のよコレラ を関するといふべきもの であり、同保園者織出の場

民刑事司法官會議

本部では本部では本部では、対議委委員會を組織し、対議の制築に落手する事となった、なは本年度中に登した数を開発した。 3

要スヤル 芸彩妖並に賞金一封宛贈興 された 上 競 大 滿 大 滿 洲

の潜入許さず の醫療特技班 本年度水上 宍闕水館會では本年度の日程を大協會では本年度の日程を大 なので防疫陣の緊張一入で 2

山を線

遼河水系造林三十年計畫

を急傷とする現段階にあつては、材質を選擇しないが 第一次造林完了後は樹種の 第一次造林完了後は樹種の 類形を研究し燃料及出水鵝

員の砂防造林の訓練を担果校に砂防造林の訓練を受験を受ける。

助金を下附する が防技術員業成

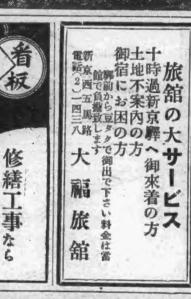
日新聞社事業部(電③三三〇〇) 十五日辭守 東亞大會出場者は除 名、料金の大巾値上を追加 の更に上記案の三割増を希 いの配給量が三ガロン乃至 いの配給量が三ガロン乃至







続とし、車庫直







電氣機具、オーバー家具類、モーター、

賣

大經路一〇八



隨基 意本 科科洋

停留場。 が実術・バス路 裝研 、究 は 6 白 w VJ



五七〇九番

入院随時

電老肥

花柳病科

產婦人科





高價買 3 **電話③三六八七春**

技術正確·責任出願 海车 人成 術京八 には撤に 鳥通四



不夕製麺起工場 萱等賞 金牌 用 受



同じ明るさで然も消費電力 を少しでも引き下げ機とす るのは世界照明技術家に記 せられた困難なる宿題であ りましたが之を解決したの は弊社三浦技師の發明した 二重素旋機條であって一個

に消費電力二割の大巾節約

長不破工學博士によって門 られたのであります 金 口

硝電球

帽子球の内面整滑は世界層

資源愛護の國策に沿ふ銀口 金は弊社研究所に於て三年 試験がその優秀性を證明し

田来がました

つた、電菜及び電々では一刻もとはいへこの敵猛製によつて関

·がて夜に入つた國都の街は撃戒管制のまゝ空への防備に完璧烈も早くこれが復舊を期して物凄い驟雨を全身に浴びながら懸し國都の電氣サイレン、電話は多大の爆破を繰り遂に不通とな機は漸く十六日午後五時我が防空陣に撃退されて逃避し去つた

電話連絡不能に陷

要求を知らせればよいでする。

であらう「寫真は電々本社屋上より敵機をのぞむ(左)は防治な非関係全市に空襲警報を設合した、しかし唯一の信號器サイン・では、一般の関係を襲ふ敵機の爆音を探知した、使然色めきた。近の復讐作業にも拘らずいまだに不通である、我が偵察機は

小麥粉通帳制

湖の帝旨を拜しての感激と 如き調酔の後懇談を行つた 如き調酔の後懇談を行つた 明

も 要素の要事をりとす、 ・ を要素の要事をりとす、 ・ を要素の要事をりとす、 ・ を要素の要事をりとす、 ・ を要素の要事をりとす、 ・ である。最初である。 ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ でる。 ・ でる。

し、禮職もつて秩序を何も 一、他もつて時報に強き、動 一、外は熟誠克く實践活 なし、外は熟誠克く實践活

副長會議は十六日午後三時から中央本部第一會議室に 小山、半田、山口、金子、 森田、河本、甘粕、白濱、 作田、田村(敏雄)の在京 では、田村(敏雄)の在京 では、田村(大田)の在京

準ずる分科)を單位として、 で各部局處司(又はどにび各部局處司(又はどになった。 での光榮に浴し得る者は れ等

七日から卅一日までの五日間と夫々變更となつた日間、哈爾濱は廿四、五百の二日間、新京は廿五日間、哈爾濱は廿四、五百の二日間、新京は廿五日間、哈爾濱は廿四、五百の二日間、新京は廿五日間、哈爾濱は廿四、五百の二日間、新京は廿五日から卅一日までの五日間と夫々變更となつた

季休暇に入り校門とざした 要体暇に入り校門とざした 要島高女(國展會場)に受 付所を移轉し引つなき計目 まで受付ることとなった なほ十六日現在の出品受 にる總出総数百計(日本書) 三日前次今年も締切りの、昨年 年同様今年年6年以前、比年 の総はないが、比年 を持ちないが、比年 を持ちないが、比年 を持ちないが、比年 を持ちないが、比年 を持ちないが、比年 を持ちないが、と見られてる場

配人米田宏 (三四)を暴利 される 満洲唯一の 美術展 取締令遠反の容疑で連行取 都中央通端洲関教育會内の 都中央通端洲関教育會内の 都中央通端洲関教育會内の 都中央通端洲関教育會内の 大月一日 しん出品整理に手狭をつげ

初日廿七日に變更

新京興行延期

八日協和會關係

十七日官公吏、

もつて心とし、

賽馬賞金を

なほ遺族はミッ子未亡人 をはじめ長男機信氏(二 人)を頭に七人の子女が ある

やかな告別式を執行し、更 に氏生前の勞苦を謝して近 く表彰の手機をとることと なつた

述べて訓示となす

一言所信

國展相談役

京興安大路六二四號

川井電氣

轉

知

震價土場車

登間六時迄 純奥茶サロンキョウシンキョウ

嚢に御通知申上候電話番號は誤りに付右の通り

御訂

IE.

被下度候

話②

電話②三三二番安森

新京東二條画三十 右希望者は自筆履歴書持多午前中 石希望者は自筆履歴書持多午前中 事務員募集 女學校卒業以上

新京建材祉本店

旅館の大サービス十時過新京驛へ御來着の方生地不案内の方館で負擔致します。 解前から豆々々で利田で下でい料金は當解前から豆々々で利田で下でい料金は當解前から豆々々で利田で下でい料金は當解前がら豆々々で利田で下でい料金は當解が全人一回三人大脳 依 舘

富の三七六五

婦人服店階上

女事務員採用

日本自動車株式會社 度し

第一徵兵保險代理店 新文製品通图一 號 電長 簡句號 三四平 一七次 -0 八四郎

通十三番 益



より左の如ぐ改正實施する も市内の石炭運搬賃金は十 り市内の石炭運搬賃金は十 荷馬車不足の影響 闇男に鐵鎚 五區 三國、三區 三國二

自和警察廳では本年慶行政 格者のうち警佐二名の高等 信任官製令に伴ひ管下各署 の大異動を十一日付で十六

下 0

命警務科企畫股

命長通路警察署例

藝科

命外事科勤務

今は無くなつた、率天新 の日本人會で先づ一席と東 方事情の霧濱などより敷迎 されたといふ、これが玄人

た足の問題解決の一策とし

所へ偏在して效率的に不經この結果國都の足が思はぬ

命寬城子警察署

同地

命四道衛擎祭署

(中央通) (中央通)

務計平

(司法科)

を要する爆音が國都上空を とれたと思へば忽ち轟々耳 とれたと思へば忽ち轟々耳 とれたと思へば忽ち轟々耳

(日 湿 水)

では折かい

るが、右點呼に るが、右點呼に

練の燈火管制下に締切つ折から施行された防衛訓 寄に翳を截

査に去る六月初旬以來毎日實態、資力、購買力等の調

激せしめてゐる

れたがこの「通帳制實施」を繞つて通勞と炎暑のたて査定を續けた小麥粉の通帳制はいよいよ十六日を

れ、分科委員會にまで附託

慶資料作成に乗出すことと 量調査を行ひ足の調整の基 て以來の大掛りな市内交通

日満系中學生を總動員

東を照らす宮柱、濱の東を照らす宮柱、濱の文句に建りまと、歌の文句に建りまと、歌の文句に建りまと、歌の文句に建りまと、歌の文句に建りまと、歌の文句に建りませる。 め十七日に延期された 三日目の十六日に降雨のた 三日目の十六日に降雨のた は降雨のた

良優生 石灰販賣

東滿鑛業株式會社東滿鑛業株式會社

に大人服より改造婦人子供服新調並 御一報次第早速多上 山洋服鸚專 新京興運路ニノー 電話(☆)七六四一

なったこの調査は健来日本のたこの調査は健来日本のに各官趣會社の官舎、社員住宅の外の旧動退出時刻を開査のに調査するもので、就員は完めない。

土地家屋買いたい人。利用機關

電話 3 == 大三

不動產取引所

西寄の

正確本位、完結本位

物のやうに動かし酸けて居しく。口だけ無歴映畫の人とく。口だけ無歴映畫の人

みどり茶園 参京吉野町一丁目 をり茶園

茶と

學院演講,

流石に機嫌をとい

電話・三三〇〇

田鍼灸院

をよく知つて居ておくれ。 本管に正失がまともに動め てよくれさへすればお前に なくても満むのだがねえ』 なくても満むのだがねえ』 をれからめんしとして それからめんしとして をさない母のグテは川端を でまつて弟の正夫攻撃にな つてしまつたがチを彼みても がいつのまにか方面をあ でまって弟の正夫攻撃にな つてしまったがチを彼女は さいてゐる中に氣の毒でも あり又不愉快でもあつた。

タイプ印書

コチな面持ちで娘の後をつその一言に母は何を思つたてカチ栗のやうにコチをしてカチ栗のやらにコチをしてカチ栗のやらにコチをしてカチ栗の神らにコチをしてカチ栗の神らにコチをしている。

のお止しなさいよ」 智津子は人こそたかつて ないが、店先きに居る客に 関えはせぬかと、頻をほて

○ 哈爾漢波 前零等三十分 全哈爾漢波 前零等三十分 全哈爾漢波 前零等三十分 全哈爾漢波 か七時里十里分 全哈爾漢波 か七時里十里分 大時三十分 一時三十分 一時三十分 一時三十分 一時三十分 一時三十分 一時三十分

トラックに供る 大和運輸公司 電話の大九〇八番 電話の大九〇八番

清水堂

あんま特設

中央通國都ホテル

サック 原化し場く用 全 好 堂 生 好 堂

東京 一番 第3 三七つ 1番 東京 計画 八麻 紫網院 東側

第10中間 8番

て知らぬ風で先程の

0

列車発着表

回回東内

牛乳一合八

病化

協和收場

舗道と川端(二) のである。 『あれをごらんな……』と 『夢子に言つたのは其文字

智律子は落ちさりな位、 今度はゆつくり、と時々小石を川の中に蹴込んだりして歩くのだ。母の目には山大で娘子街あけみと並んで娘とさ、と解みの薦がはつきた。然し口として、と解みの薦がはつきたりと反映して居た。然し口として、と解みの薦がはつきたりと反映して居た。然し口としている。

『それはさらよ。何しろ争 ・ 職後第一の公演ですもの。 ・ 職後第一の公演ですもの。 が死で宣 あるのですもの、必死で宣

丸八商占

いったらあけみさんと並ん かったらあけみさんと並ん かったらあけみさんと並ん 室ろ周圍に言つてきかりますと言ふよりである。

電話2一八四二番 新京佐 久 端 路頭に迷ふ者、 大 業 路頭に迷ふ者、 上 本會へ と来めたき者共に本會へ お米と

御用は新満酒事

新京興信公所新京明信公所

接 看 校 数四九等標大京等

事業調査信用調査

月融金及話電間 版 新秘期長・時即融金 月 資 るあ用信。最は談種御の話鬼 入 店話電本荻 (キカの用湖) 商店商石丸街ヤイダニニノー町船入京街

西京泰山書院 端書にて御通知を 今辨慶整母院 淄鉄病院東正門前

古本買入 古本買入

三友社

電話8 三四二四

整片 宋松接骨院 (中央通管察署前) 央通り

○の御用で あき焼

高橋鍼灸科院 中的通、九〇八八人放倉中 物的 助物炎、 電③五八六五 小兒茲病。 寫溫泉閣 特に御相談 新京タイヤ街 電のないない



京大





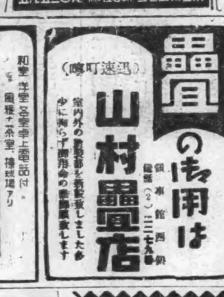
東二條通三九

に御伺ひ致します

融金工商小中 速 迅 便 輕 社會式株業實省東 (六〇四街大同大市別特京街 所在由 (巻七一九四2 駐電)内ルビ拓東



大部ホテ 韶 電 3 6016 6017















御家庭の福音・ 用として經濟的軽便なりの附着せる機械器具の御ミガキ



和洋



